



■発行年月日/2018年7月1日 ■発行/独立行政法人国立病院機構千葉医療センター ■発行責任者/院長 杉浦信之 ■編集者/副院長 斎藤幸雄
〒260-8606 千葉市中央区椿森4-1-2 Tel 043-251-5311 Fax 043-255-1675 http://www.hosp.go.jp/~chiba/

理念

信頼される医療を築く

Building Trust

私たちは、地域の方々に親しまれ、
信頼される医療を目指します。

基本方針

- ・患者さんをはじめ、センターに関わるすべての方々の人権を尊重し、相互信頼で成り立つ安全・安心な医療を目指します。
- ・地域の医療機関に信頼されるエビデンスに基づいた幅広くかつ専門性の高い急性期医療の構築を目指します。
- ・良質かつ最新の医療を提供するために教育・研究・研修・情報発信を推進し自己研鑽に努めます。以上の方針を継続的に実現する病院運営に努めます。



「YohaS レインフェス」(千葉公園大賀ハスマ祭り)

撮影：水野 昭 (栄養管理室)



目標に向かって

院長 杉浦信之

サッカーワールドカップがロシアで開催されています。前評判は低かった日本ですが、決勝トーナメントに残りました。

初戦で得点した大迫選手は報道で大々的に取り上げられ、特集も組まれました。大会前から「大迫、半端ないって」の言葉と顔がイラストされたTシャツが話題となっており、ゴールを決めたときにはそのフレーズの

つぶやきがSNS上一気に急上昇していました。大迫選手は目標であったワールドカップでのゴールをゲットし、ひとつの目標を達成しましたが、当然のことながら、目標達成には日頃の努力と鍛錬があって実を結んだと思います。決勝トーナメントでは惜しくも逆転負けとなりましたが、日本チームのプライドを持った戦い方に敬意を表したいと思います。

昨今の医療情勢から、全国的に急性期病院の経営が難しくなっており、当院もコンサルタントを入れて改善策を検討する予定ですが、皆さんの叡智を集めて「信頼される医療」を達成すべく、プライドをもって日々診療に取り組んでいきたいと思っています。

トピックス(目次)

| | |
|----------------------------|------|
| 着任挨拶/新臨床研修医紹介 | 2~3 |
| 永年勤続表彰 | 3 |
| 連携医院紹介/「初夏の食事フェスタ」を開催しました | 4 |
| 診療トピックス | 5 |
| ANECDOTA-隠れた史実-(53) | 6~7 |
| 院内コンサートを開催しました! | 7 |
| がん患者サロンたより/看護学生フォーラム | 8 |
| 千葉看護学校たより | 9~10 |
| 市民健康セミナー/専門外来・検査担当医師表/編集後記 | 11 |
| 外来担当医師表 | 12 |

主な行事予定

| | |
|------|----------------|
| 6/30 | 平成31年度関信信越グループ |
| 7/21 | 採用試験(看護職員) |
| 7/26 | 第180回市民健康セミナー |
| 9/27 | 第181回市民健康セミナー |

着任挨拶



着任の挨拶

企画課長 河合 公生

4月1日付で宇都宮病院から異動してまいりました、河合と申します。どうぞ宜しくお願い致します。

今回の異動で10か所目の勤務地となります。出身は群馬県利根郡みなかみ町で、水上温泉郷や猿ヶ京温泉などの温泉やスキー場が多数あり、ユネスコエコパークにも登録された自然豊かなところです。是非一度足を運んでみてください。

さて、千葉医療センターは急性期医療を提供する病院であり、地域がん診療連携拠点病院・地域医療支援病院・基幹型臨床研修病院・地域災害拠点病院・エイズ拠点病院の指定を受けており、地域の医療機関や患者さん、行政機関や教育機関のほか医療業界関係者等からの期待も大きい病院であると思います。

診療報酬改定、消費税の増税など、医療を取り巻く環境は厳しくなっており、病院の経営状況は近年悪化傾向にあります。地域の皆様からのご要望に迅速に対応できるよう、また安定した経営基盤を築いて継続的に地域の皆様へ医療が提供出来るように、微力ながら努力して参りますので、皆様のご指導とご協力をお願い致します。

新臨床研修医紹介



大谷 昂 協力型プログラム

千葉大学協力プログラムで1年間お世話になります。研修として実際に現場に出てみると分からないことが多く、周りの先生方・スタッフの皆様にはご迷惑をおかけしていると思ひます。それでもその都度丁寧に教えてくださり大変恐縮です。まだまだ未熟者ではありますが、早く一人前になれるよう頑張りますので、これからも宜しくお願いします。

導のほどよろしくお願い致します。



山本 真澄 協力型プログラム

協力病院型プログラムで1年間お世話になります。まだ不慣れで至らないことも多いですが、先生方やスタッフの皆様の丁寧なご指導の下、少しずつではありますが日々できる

事が増え、充実した日々を送っております。今後とも精一杯取り組んでまいりますので、ご指導の程よろしくお願い致します。



齋藤 裕也 協力型プログラム

協力病院型プログラムでお世話になります。1年間という短い間ですが一つでも多くの事を吸収して、これからの研修に活かしていきたいと思っております。まだまだ至らない

点も多々ありますが、一日でも早く仕事を覚えられるよう頑張りますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



新井 亮 基幹型プログラム

基幹型プログラムで2年間研修させて頂きまます。まだわからないことや出来ないことが多く、先生方をはじめ多くのスタッフの方にご迷惑をおかけしておりますが、一つでも

多くのことを学んで1日でも早く仕事出来るよう精進して参ります。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



高野 沙唯 協力型プログラム

協力病院プログラムで1年間研修させて頂きまます。目にすること全てが刺激的に鮮やかで、毎日が充実し満ちております。塵のような歩みでも積もれば山になりますよう、一日

いちにちの学習を大事に重ねていきたい所存です。至らな故、皆様にはご迷惑おかけいたしますが、何卒ご指



小埜 広貴 基幹型プログラム

基幹型プログラムで2年間お世話になります。学ぶことが数多くある中、先生方のご指導のもとで少しずつではありますが成長を実感しております。これからもより多くの事を

吸収し、成長していけるよう努力してまいります。何卒よろしくお願いいたします。



熊田大樹 基幹型プログラム

基幹型プログラムで2年間研修させて頂きます。研修が始まり早2か月、スタッフの方々にご迷惑をおかけしてばかりですが、日々様々なことを勉強させて頂いております。早く一人前の仕事ができるよう精進して参りますのでどうぞよろしくお願い致します。



藤井友夏里 基幹型プログラム

基幹型で2年間お世話になります。働き始めてまだ2か月ですが、少しずつできることが増え、患者さんの治療に医療スタッフの一員として関われることに、喜びを感じております。今後も、少しでも成長できるよう努力して参りますので、今後ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。



佐藤文音 基幹型プログラム

基幹型プログラムで2年間研修させて頂きます。まだ至らない点が多く、ご指導頂いております先生方やスタッフの皆様にはご迷惑をおかけするばかりですが、1日1日を大切に多くの事を吸収できるよう精進していきたいと思っております。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



三輪千尋 基幹型プログラム

基幹型プログラムで2年間、当院で勤務させて頂きます。頼りない部分しかないと思いますが、患者さんのために今自分にできる事を考え、精一杯診療させて頂きます。指導医の先生方および看護師さんをはじめとする職員の方々にはお世話になりますが、宜しくお願い致します。



始関貴大 基幹型プログラム

基幹型プログラムで2年間お世話になります。まだまだ分からない事や出来ない事が多く、スタッフの方々に多大なるご迷惑をおかけしておりますが、優しく丁寧に指導頂き大変感謝しております。今後も精進し、患者さんや病院のために貢献できたらと思っております。ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。



渡部主樹 基幹型プログラム

基幹型プログラムで2年間お世話になります。研修を始めて2か月ですが、先生方をはじめとして様々な医療スタッフの方々にご指導頂き、毎日できる事が増えていく事に喜びを感じています。まだまだ至らない点も多々ありますが、今後も精進して参ります。ご指導ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い致します。

永年勤続表彰

平成30年5月11日(金)に永年勤続表彰伝達式が行われました。

杉浦院長より、永年に亘り国立病院の医療向上及び千葉医療センターの充実・強化にご尽力されてきた方々に、30年勤続及び20年勤続の表彰状と記念品が授与されました。

前年の授章者は6名でしたが、今年度は倍以上となる14名が授章されました。今後も当院の病院運営にさらなるお力添えをお願い申し上げます。

(管理課)



30年表彰 5名

| | |
|--------|------|
| 8階看護師長 | 細川優子 |
| 4西看護師長 | 立花英美 |
| 4東助産師 | 鈴木幸子 |
| 8階看護師 | 河井千恵 |
| 経営企画室長 | 石澤英夫 |

20年表彰 9名

| | |
|----------|-------|
| 看護学校副学校長 | 橋口広子 |
| 5西看護師長 | 小田ゆみ子 |
| 6西看護師長 | 波島正子 |
| 外来看護師 | 杉村里枝 |
| 外来看護師 | 宮本智恵美 |
| 外来看護師 | 白田智子 |
| 4東助産師 | 菅野美穂 |
| 調理師 | 水野昭 |
| 自動車運転手 | 桐山美彦 |



連携医院紹介

田那村整形外科

千葉市中央区富士見2-16-1 4・5F

☎ 043-225-2777

院長 田那村 宏

当医院は、昭和53年6月、ビルの中での有床診療所として開院しました。8床の中に手術室も充実させ、透視もできるX線室・理学療法室の整備もし、バリアフリー化をめざし設計、小ホテル並みとも云われました。

恩師の先生方からのご指導・ご教示も頂いて、10数年は、365日・24時間体制で1次～2次の整形外科救急医療診療に励みました。時代背景から今は、一般整形外科領域の外来診療が主体です。0歳児から老若男女100歳の方まで遠方からも来院されます。可能な範囲で外傷・救急車の受け入れも日常診療で行っています。

国立千葉医療センター（旧国立千葉病院）登録医の会には、初回より参加させて頂いています。

最近は、古くからの患者さんの変形性関節症・脊椎症、若い人の深部静脈血栓症、創傷の遷延など多彩な疾患を紹介させて頂いて的確な治療と情報提供を頂き、安心して日常診療に従事することが出来ます。各科の諸先生方に、この場をお借りし改めて感謝いたします。

親の代（亡父母：外科医、眼科医）から、院長であられた故鈴木五郎先生始め諸代の院長先生方、武者廣隆先



生、鈴木一郎先生、増田政久先生方と懇意にさせて頂いています。現病院長の杉浦信之先生に、今後共に、病診連携に向け地域医療の充実にご活躍・ご尽力を頂けることを期待いたしております。

千葉市・千葉県医師会の役員時代から、地域医療・救急医療体制にご協力・ご支援を賜り、公私ともに大変お世話さまになっております。今後も宜しくお願いたします。

—昨年、日本医師会協賛の「赤ひげのいるまち」BS-TBS「心に残る医療体験記コンクール」スペシャルに小生が紹介されました。「赤ひげ」に近づけるように、当院のモットーである「相手の身になって親切な診療」をこれからも続けて参りたいと思っています。

健康食まつり・「初夏の食事フェスタ」を開催いたしました

栄養管理室長 宮本 佳世子

平成30年6月11日(月)から5日間、院内レストラン・クロスワンで「初夏の食事フェスタ」を開催いたしました。このフェスタも今回で11回目を迎え、徐々に周知されてきたように思います。なお、開催予告を大々的に公示していないため「開催日を事前に知りたい」「以前から気になっていたものの来院日と開催日のタイミング合わない」「食べに来たら完売していることが多くなかなか食べられない」等のご意見を伺いましたので、今後の検討課題とさせていただきます。

この食事フェスタは、当院の管理栄養士がメニューの作成を行い、院内レストランでランチメニューとして調理、提供するというコラボレート企画です。外来通院中の患者さんやご面会等で当院にお越しになった方、近隣住民の皆様にも健康的な食事とはどういうものか、まず実際に食し感じて欲しいという思いから、病院行事として始めました。最近では当院の職員にも健康的な食事の組み合わせや味付け等を改めて意識する良い機会



チリ・コン・カン(米国)



フローズン・クウェート

になっています。

メニューはその季節に合わせた料理や食材を元に、海外の珍しい料理やご当地料理等を取り入れ、開催期間中は毎日違う献立を提供し、皆様楽しんで頂けるよう努力しています。また食事フェスタ期間中は管理栄養士が会場に常駐し普段気になっている食事のことなど気さくにお話し出来ます。ご興味のある方、近隣にお住まいの方、是非、一度当院の食事フェスタにお越し下さい。ご来店をお待ちしています。

次回は10月の下旬開催を予定しております。

診療トピックス ⑦⑩

膵がんについて

膵臓は、胃の後ろにある長さ15センチ厚さ2センチ重さ70グラムほどの小さな臓器ですが、糖尿病に関連するインスリンなどのホルモンを産生する内分泌機能と食事から体内に摂取された栄養素を消化吸収するための様々な消化酵素を産生する外分泌機能という2つの働きをしていて、体内の臓器の中でも重要な役割を担っています。

その膵臓から発生する膵がんは、難治性がんの代表格として恐れられています。膵がんで亡くなる著名な方々に関する報道があるために皆さんもこの病気を目や耳にする機会があるかと思えます。

我が国における膵がんの罹患者数は年間約4万人と高齢化を反映して増加傾向です。また膵がんによる年間死亡者数も約3.4万人と増加傾向で、一貫して罹患者数と死亡者数がほぼ同数で推移しています。全がんにおける死亡者数では肺がん、胃がん、大腸がんに次いで第4位となっています。早期では症状が出にくいために発見時には非常に進行していることが多い、膵臓は薄い臓器であるために周囲へのがんの進展が早い、根治切除後でも転移再発の可能性が高い、などの理由で相対的5年生存率は5～7%と予後不良であり、医学が進歩した現在でも長期予後が期待出来る状況ではありません。

膵がんの原因はまだはっきりと分かっていませんが、関係する危険因子としては、①喫煙、②肥満、③慢性膵炎、④糖尿病、⑤大量飲酒、⑥膵管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMN)、⑦家族性、⑧遺伝性、⑨加齢、などが挙げられます。親兄弟に2人以上の膵がん患者がいる、膵管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMN) と診断された、慢性膵炎の既往がある、などの危険因子に該当する場合は、定期検査を受けることが早期発見の第一歩です。特に膵管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMN) ではCTおよびMRIや超音波内視鏡 (EUS) などの検査を定期的に行うことが必要です。自分で対応可能な予防策としては、禁煙、若い頃からの肥満予防、適量の飲酒、などの生活習慣の改善が大切です。

膵がんの主な症状は、①腹痛、②黄疸、③腰背部痛、④体重減少、⑤糖尿病悪化、⑥食欲低下などですが、無症状も約15%にあります。黄疸以外は特有な症状に乏しいために症状は膵がん早期発見の指標にはなりません。腹痛、腰背部痛、食欲低下、倦怠感などの不定

症状が続いたり、糖尿病が急に悪化した場合は、膵がんである可能性も考慮して検査を行うことをお勧めします。

膵がんの治療法は、①手術、②化学放射線療法 (抗がん剤と放射線の併用)、③化学療法が推奨されています。手術が最も確実かつ根治が期待出来る唯一の治療法ですが、膵がんは発見時に肝臓や肺への遠隔転移や切除不可能な局所進行を認めることが多いため、手術可能な方は全体の20～30%に留まります。膵がんの手術方法は、①膵頭十二指腸切除、②膵体尾部切除、③膵全摘などですが、手術に伴う合併症発生率は40～50%と他の手術よりもリスクが高くなります。膵がんの手術に特有な合併症として、①膵液瘻 (膵臓を切った断面と消化管を再建した繋ぎ目から膵液が漏れる)、②腹腔内出血 (膵液瘻から発生した腹腔内膿瘍によって動脈瘤が発生することがある)、③胃内容排泄遅延 (膵頭十二指腸切除後に胃の動きの回復が遅れて食事が摂れなくなる)、④術後糖尿病 (膵切除後にインスリンの分泌量が減るため)、などがあります。根治切除した場合でも早期に転移再発の可能性が高く、切除後5年生存率は10～20%と予後不良であるため、手術後の抗がん剤治療 (術後補助化学療法) としてエスワンという抗がん剤を6か月間投与することが推奨されています。手術が不可能な場合は、抗がん剤による化学療法を行うことが多くなります。膵がんの化学療法はゲムシタビンとナブパクリタキセルの併用療法およびフォルフィリノックス療法といった新規治療法が開発されて進歩しています。また抗がん剤と放射線治療を組み合わせる化学放射線療法もありますが、まだ有効性が確立された治療法ではないために臨床試験として行われます。

膵がんによって生じる消化管閉塞に対しては内視鏡的十二指腸ステント挿入術や消化管バイパス術が行われます。どちらが優れているかはまだ明確ではなく、患者さんの状態や施設状況に応じて治療法は選択されます。胆管閉塞による黄疸に対しては内視鏡的胆管ステント挿入術が一般的です。

このように治療が非常に難しい膵がんですが、消化器内科と連携して日々診療を行っています。お困りのことがある場合はお申し出下さい。

(外科 野村 悟)

A N E C D O T A (53)

— 隠れた史実 —

元研究検査科長 高澤 博

今回と次回で、江戸医学所において日本で最初に病理学を開講した石井信義についてまとめておきます。過去本項21～23回で信義に触れてきました。石井信義(図1)は天保11年(1840)11月美作勝山に生まれる。幼名久吉、父は宗謙、母は宗謙の側室萬屋丈助の娘むら、謙道と称する



図1 慶応3年信義29才江戸にて

(図2)。號は石腸または素山とも云う。父と同じく非凡の秀才であり、郷里にてはやくから神童の聞こえが高かった。父67才の頃宗謙の岡山下ノ町に開業したとき伴われて同所に移り、岡山藩校に於いて漢学その他普通教育を受けたようです。嘉永5年(1852)13才の時、父が徳川家侍医として召し出された時従って江戸に赴き、安政2年(1855)の頃まで江戸にて父の許より箕作阮甫また鈴木弘庵の両氏の門に通い和蘭書を学びこの間桂川周甫の弟子となり和蘭事彙刊行の事業を助けたと云うその跡に助力者の一人として石井久吉の名が挙げてある。安政4年(1857)18才に達した時、あたかも和蘭海軍医官ボンペの長崎来朝に会い、父宗謙はかつて自分がシーボルトに就いて学んだ経路をふませ、我子信義を遠く長崎に遣わし修行せしめたものと推察される。当時松本良順は既に同氏に就いて修行を始めた時で、長崎養生館の設立以前の時代において果たして信義が期待した教育をボンペより授かったかどうか疑わしい。緒方銈次郎(緒方洪庵の孫)の察するところでは、信義はむしろ同所に於いて父宗謙知己の某蘭方医の許に身を寄せ学僕となりその玄関番を務めながら蘭学の教授を受け、時々ボンペの講義を傍聴した程度であつたらしいと。信義の長崎滞在一年に満たずして長崎を去り、大阪に上り緒方洪庵の門を叩いて適々齋塾に入学した。爾来蘭学を解する力は急速に進み、前後満四年の長きに亙り在塾、遂に業を卒えて万延元年(1860)22才の時江戸へ帰った。その翌年文久元年(1861)5月父宗謙逝去し、父の死後勝山表給人嫡子上席八人扶持被下置候との沙汰を勝山藩主三浦侯より受け、江戸詰藩医となった。文久2年信義24才の時恩師緒方洪庵は幕府奥医師を命ぜられ、これに兼ねて大槻俊斎没後の幕府管轄西洋医学所頭取を仰付けられ、同年8月江戸へ下った信義は洪庵の推挙に依り同門島村鼎甫等と共に医学所の教授職を申し渡された。翌文久3年(1863)6月洪庵の急逝に遇い失意の極に達したが、幸い後継者松本良順の用いる所となり、引続き勤務した。元治元年(1864)正月信義26才にして公義より老中井上河内守沙汰にて医学科取締の教授被仰勤中十五人扶持金十両づつ被下置候と申し渡される身分となった。

慶応元年信義27才医学所の学制改正(医学七科(物理学、化学、解剖学、生理学、病理学、内科、外科)を定め、毎週

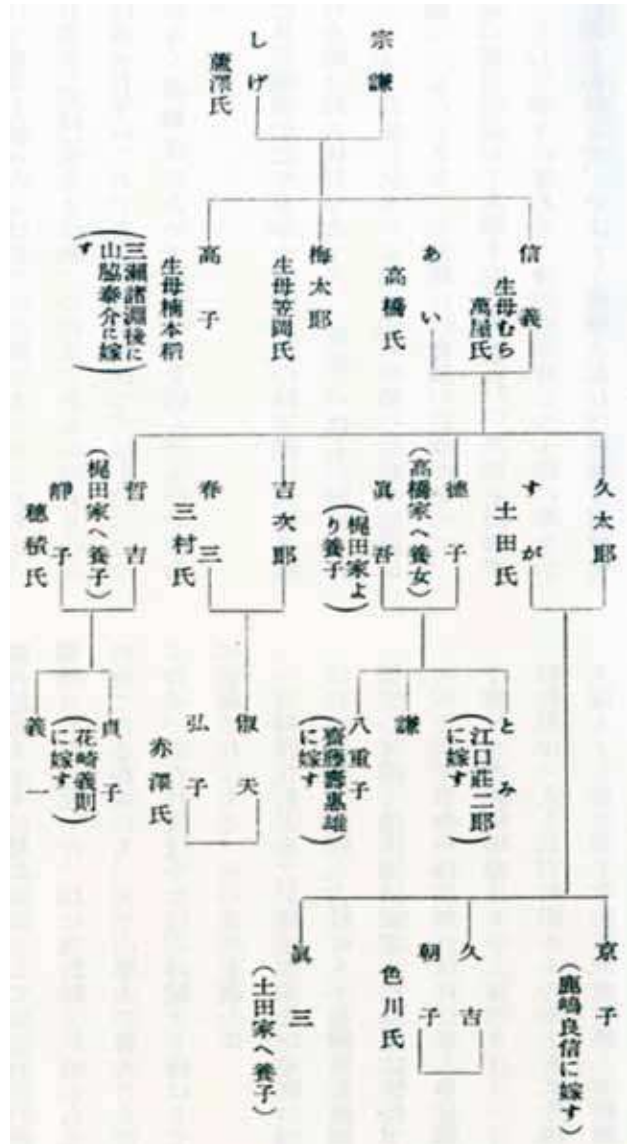


図2 石井信義系図 醫譚(思文閣)下723より引用

講義の後に試験を行って生徒の階級を進退した)に大いに功績があった。慶応の末年に医学所は一時休校となったが、明治元年6月維新政府は幕府経営の医学所を復興し、医学校の設立の時、信義は引き続きその教職員に列した。明治2年(1869)7月太政官より大学大助教、明治3年3月同じく太政官より大学少博士に任ぜられた。学校に於ける信義の担当科目は主として原病学(病理学)であった。

明治3年10月大学少教授となって大阪医学校校長に転じ、その翌4年(1871)11月文部省より文部中教授を命ぜられ、同時に辞職し東校に復帰した。しかし、それ以来は病苦に悩まされ勝にて殆ど教壇に立つことが出来ずまいであった。長と専齋を局長として明治6年(1873)3月文部省内に設置された医務局の一員として医制取調に従い、その後同7年には同局編書課に入り島村鼎甫、坪井為春、司

院内コンサートを開催しました！

庶務班長 渡邊 孝

平成30年5月15日、患者サービス推進委員会の主催により、山形交響楽団より、齋藤真美さんをお招きして、院内コンサートを開催しました。

オーボエ演奏者の齋藤真美さんは、当院の歯科口腔外科へ通院されていたということもあり、歯科口腔外科の中津留医長の紹介により、今回のコンサートが実現しました。

2月頃より、齋藤真美さんと、どんなコンサートにしようか、曲は明るめな感じにしようか、千葉だからディズニーの曲をいれよう等、打合せをさせていただき、「星に願いを」から始まり、アンコールを含め合計7曲を演奏いただきました。

当日は入院患者さんや、ご家族の皆さま、職員を含めると100人超の方がオーボエの綺麗な音色に酔いしれました。また、最後に「ふるさと」を参加者全員の合唱で締めくくり、あっという間に時間は過ぎてしまいました。

終了後に、参加いただいた患者さんに、「川の流れるように」を聞いてグッときたよ、ありがとう！とお声掛けいただき、コンサートを開催して本当によかったと思います。



コンサートを快く引き受けてくださった、齋藤真美さんを始め、開催にあたり、協力いただいた関係者の皆さまにこの場を借りて御礼申し上げます。

今後も楽しいイベントを企画していきたいと思います。

馬凌海等と共に洋医書の翻訳事務を担当した。同年9月従六位に昇叙した。官を退いて後専ら静養に従い、傍ら医業を駿河台南甲賀町の自邸に開き、患者の需に応じて診療を行った。信義の高徳を慕って治を乞うもの門前に踵を接したと云う。かくて病弱の身を自愛しつつ閑散なる余生を楽しまれた信義は、明治15年(1882)1月12日に至り病革まりて安らかに永眠につかれた。享年四十三才。

信義の容貌は色白く眼もとやさしく鼻高い面長の顔貌であった(図1)。中年を過ぎてより痼疾に悩み軀幹の瘠せ目立ち、それまでは中肉中脊の優さ男であった。信義の恩師桂川周甫の娘今泉みね女はその遺著「名ごりのゆめ」に次のような追懐談を記録している。

「石井さんと申しますと、せいのすらっとした、やせがたの、髪の毛をなでつけるようにうしろにぶらっとさせた、眉毛の濃い色の白い顔の人が、はっきりと眼の前に出て来ます。往来で貧民のこどもが泣いてでもぬますと、立ちどまってあやさずにはゐられないと云った風の真底やさしみのある方でした。私の父が『石井』とか謙道とか呼びなれていましたのも、古くからの弟子で親しみが深かったからなのでございましょう。石井さんは御維新のあとで、ときめくやうになられました。こちらは大きな邸から追い出されて、けちな長屋にはいりました。併し一度主様とか先生とかいふた者に對して石井さんは実にものがたく、先方の境遇はどうあっても、御自分の態度はつゆかえなさいませんでした。そして沢山な月給をおもらひになり、また人からあがめられるやうになればなる程、時勢

に合はず米の代にも困ることになった徳川家の者に同情深く、決した御自分の出世を誇るやうなことはありませんでした。いつまでも御恩々々と言つては、ハッと手をつかばかりになさいました(中略)。私が石井さんのお宅にあづけられた時、どこまでも主人の娘が来て居るやうに、毎朝手をついて『ひいさまごきげんよう』と挨拶されますのは恐縮でした。実際奥さんやほかの方がいやな顔をなさる位に鄭重に取り扱ってくれました。

また、鹿嶋夫人京子(図2)の談話でも信義の篤い情義に触れています。信義は稲女、高子の両女より尊敬と信頼を受け何かに力にされていたようです。また信義の方からも稲女をシーボルト先生の遺子として尊敬し、且つまた薄命の女性としていたく彼女に同情していたふうで、楠本家の家作の世話をしたり、義妹高子を三瀬周三没後駿河台の宅へ引き取りいろいろと世話をしたようです。

信義の頭脳の明哲にして且つ緻密なると記憶力の旺盛なるとは真に驚嘆に価するものがあつた。とくに語学の習得に至つては和蘭、英吉利、独逸の三国語に通じ、その翻訳の正確さは先輩諸友の敬服するところであつたと云う。著書の丹氏医療大成提要にそれをみることが出来る。

信義の長男久太郎の妹徳子は高橋家(母の実家)を襲い伊予梶田家より医学士真吾氏を迎えて同家を再興した(図2)。真吾は千葉医学専門学校教授となり、後宮内省侍医を拜命した。続く。

がん患者サロンだより

がんところ

がんと診断されたり、再発したとわかったとき、多くの方は大きなショックを受け、しばらくの間はつらさや不安、落ち込みの強い状態が続くようです。そして、その気持ちをどう表現していいかわからず戸惑い、自分ひとりで抱え込むことがあります。

こういった気持ちの変化は、ある程度はショックからところを守ろうとする時に起こる通常の反応です。

まずは、身近な話しやすい方に話したり、「がん患者サロン」や「患者会」などに参加して、体験者同士気持ちを分かち合ってみてください。話すことで、整理され、落ち込んでいる気持ちが少し軽くなるかもしれません。

つらさや不安感が強く、日常生活に支障が出るほどのときは、何か対策を考えることも必要となります。

担当医や看護師、全国のがん診療連携拠点病院に設置されている「患者相談支援センター」などの医療スタッフにご相談してください。

参考) がん情報サービス(国立がん研究センター がん対策情報センター) HP資料。

注) 当院(千葉医療センター)は、平成20(2008)年2月から、がん診療連携拠点病院に指定されています。

患者サロンの話題から がんになったの思い

「(がんと言われる)以前は体のだるさがなかったが、宣告されてから体のだるさが出てきた」との方や、「何で私だけ暗いトンネルに入ったんだろう」、「乳がんは治療の期間が長いのでつらい。不安にもなる」など、心身にも影響が出てくるようです。

また、「がんは長丁場。家族を含めて健常者にも気持ちを知ってもらいたい」や、「一人になった時に…」と孤立感が強くなる様です。

でも、「がんと言われた時は大きく落ち込んだ。今は開き直っている」との方は、「一頃は何を食べてもまずかった。開き直ったのが良かったのか、味が分かるようになったし、気が楽になった」と。

中には、「抗がん剤や治療法が進歩してきているので、希望を持って、もう少し長生きしよう」と、医学の進歩に希望をつないでいる方もあります。

つらさや不安な気持ちを、同じ体験を持つもの同士『がん患者サロン』で話して、気持ちを軽くしてみませんか。当院の『がん患者サロン』のフタッフも体験者です。皆様のご参加をお待ちしております。(宗水)

がん患者サロン シャント発声交流会開催案内 (旧プロヴォックス患者交流会)

日時：毎月第4金曜日 13:30～16:00

7/27金・8/24金・9/28金・10/26金

場所：千葉医療センター内会議室
(当日、道順案内を掲示します)

対象：主としてがん体験者及び、そのご家族です。
どちらの医療機関に掛かっておられても参加できます。
(予約不要、参加費は無料です)

問い合わせ：TEL 043-251-5311(代表)

(経営企画室 石澤)

看護学生フォーラムに参加して

64期生 田代 魁人

平成30年3月10日、国立病院機構 関東信越グループ看護学生フォーラムが幕張メッセで開催されました。シンポジウムテーマは「実習でみえた患者の想い」で、8校の看護学校が参加しました。

シンポジウムでは、環境整備の重要性や患者の想いに気づくなど4名のシンポジストによる発表がありました。発表から他校の学生の実習における様々な経験、看護についての学びを共有し、同じ目標を持つ仲間が努力している様子を知ったことで、私は看護師になるために更に切磋琢磨して様々な知識や技術を身につけたいと心に決めました。



当校は、次年度学生フォーラムの当番校です。そのため、私は閉会式で当番校代表として挨拶を行いました。母性看護学実習で初めて新生児に触れた時、私の手を握りしめた温かさやぬくもりに命の尊さを感じ、看護師という命と向き合う職業の責任の重さを再確認したことを伝え、今後も仲間同士看護を伝えあえる会にしたいと抱負を述べました。

これからも共に学び合う仲間と意見交換し、看護学生として今できることを精一杯考え実習に臨んでいきたいと思えます。



平成30年度 66期生 入学式 看護の道へ一歩

教員 大山和己

平成30年度入学式が4月7日に挙行されました。この日、新入生83名は夢や希望を抱きながら看護の道を一歩、踏み出すことができました。

杉浦学校長からの式辞では、由緒ある校章の由来についての紹介と激励の言葉が贈られました。その後、ご来賓の皆様をはじめとした参加された皆様の温かいまなざしに見守られながら、新入生達は看護を学ぶ決意をしました。

この先、楽しいことや嬉しいことだけでなく、悩むことや苦しむことがあるかもしれません。どんな時でも相手を尊重し皆で助け支えあえる心や、共に切磋琢磨し困難を乗り越えていける力を養いたいと思っております。また、関係者の皆様からのあたたかいご支援、励ましを受けながら、学生が抱いた「夢や希望」が実現できるように学生の思いや気づきを大切に育てていきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。



看護の心をみんなの心に

65期生 2年生 嶋 瑠李子

看護の日は、看護の心・ケアの心・助け合いの心を一人一人が分かち合うことを目的として、ナイチンゲールの生誕日である5月12日に制定されました。

今年度の学生自治会では、看護の日の取り組みとして「ケアの心」では社会奉仕活動を、「助け合いの心」では日常生活の中で困っている方への支援や声かけを行いました。

学生自治会で社会奉仕活動を行うのは初めての試みとなります。活動する範囲を、通学路と隣接する地域と実習病院内と決めて、その地域内のあいさつ運動とごみ拾い・草むしりを、1・2年生の約160名で行いました。近隣地域で活動すると、近隣地域には高齢者が多く住んでいること、病院や集会所など人々が集まる場所があることなど地域のことを詳しく知ることができました。学生にとっての通学路は、地域の方にとって生活道路です。通学中の歩き方に気を付け、周りに目を配りながら登下校しなければいけないと考えました。



また、「助け合いの心」の活動では、学生が助け合いの心を持って行えた事柄をメモに書き、掲示板に貼っていました。学生が行った事柄がたくさん掲示され、学生一人ひとりが「助け合いの心」を意識して一週間を過ごすことができました。

一生懸命に社会奉仕活動を行うと、近隣地域と実習病院内はとてもきれいになりました。また地域住民の方からは温かい言葉をたくさんいただき交流が持てました。この活動を通して、看護学生としての自覚と看護への想いを認識し、「ケアの心」「助け合いの心」が心に刻まれる活動となりました。

千葉県下看護学生体育大会

体育大会実行委員長
65期生 原田七海

平成30年4月19日千葉県下看護学生体育大会が開催されました。この大会は大変歴史のある大会ですが、毎年参加校が減少しています。当校と旭中央病院附属看護専門学校の2校での開催で、2年目となりました。これ

まで7月としていた開催月を今年度は4月の開催としたため、両校とも臨地実習の時期を外れ3学年、約460名の学生が参加することができました。今年のテーマは「和」でした。「和」という言葉の意味にはなごむという意味もありますが、他にもお互い相手を大切にする・協力し合う・仲良くするなどの意味もあります。大会では、看護を学ぶ者同士、親睦を深め合うこともでき、また協力し合い、体育大会を運営することができました。



旭中央病院附属看護専門学校 伊良部学校長

体育大会を終えて

体育大会実行委員
遠藤千尋・北崎絵理奈
旭中央病院附属看護専門学校

今年の体育大会は、以前の体育大会とは異なり、午前にはスポーツ、午後は親睦競技という新しい形態での大会となりました。私たち2年生が初めて中心となって動く立場になり、わからないことや新しい競技がうまくいくのかという不安もありましたが、先生や先輩方のサポート、そして千葉看護学校の協力のもと、無事に体育大会を開催することができました。

大会当日は、各競技、皆、精一杯プレーをしていて応援する人も楽しそうに声をかける様子が見られました。親睦競技では、スポーツの時より双方の学生と関わる機会が増え、以前より千葉看護学校との親睦を深めることができたと感じています。

今回の体育大会は新入生歓迎会を兼ねて行いましたが、この大会を機に他学年との交流も出来ました。1年生からも楽しかったという言葉が沢山聞かれ、体育大会を実施することができて本当によかったと思います。

来年の体育大会も皆に楽しんでもらえるよう、サポート役ではありますが、体育大会実行委員として精一杯頑張っていきたいと思っています。



市民健康セミナーの開催

当院では千葉市民の皆様へ健全な生活を営んで頂くために、少しでもそのお手伝いができればと考え、8月を除く毎月「市民健康セミナー」を当院地域医療研修センターで開催しております。

4月～6月に行われたセミナー

- 4月26日(木)
「健康診断で肝機能障害を指摘されたら」
講師：消化器内科 芳賀祐規
- 5月24日(木)
「膵臓がんについて」
講師：外科 野村 悟
- 6月28日(木)
「くすりのできるまで」
講師：薬剤部 副薬剤部長 神長雅浩

今後の予定

第4木曜日 午後2時から4時
会場：当院地域医療研修センター

- 7月26日(木)
「乳がんについて知っておきたいこと」
講師：看護部 乳がん看護認定看護師 篠塚 静香
- 9月27日(木)
「皮膚科のいろいろ」
講師：皮膚科 秋田 文
- 10月25日(木)
「脂肪は敵？・味方？」
～最近の脂肪(食物)の話題について～
講師：栄養管理室長 宮本佳世子
- ★8月は、市民健康セミナーはお休みします。

セミナーに10回参加された方には記念品をさしあげます。

(お問い合わせ先 管理課)

専門外来担当医師表

| 診療科 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|--------------------|------------------------------|--|---------------------------------------|------------------------------------|------------------------------|
| 和漢診療科 | | | 永井千草 8:30～13:00 完全予約 | | |
| 肝胆脾外来・消化器内視鏡外来(内科) | [交替医] 14:00～15:00 紹介制・予約制 | [交替医] 14:00～15:00 紹介制・予約制 | [交替医] 14:00～15:00 紹介制・予約制 | [交替医] 14:00～15:00 紹介制・予約制 | [交替医] 14:00～15:00 紹介制・予約制 |
| 腎内科(内科) | | 今澤俊之 (第1・第3火曜日)13:00～16:00 | 上田志朗 (第2・4水曜日)8:30～11:00 | | |
| 外科・消化器外科(外科) | | [交替医] 13:00～15:00 紹介制・予約制 | | | [交替医] 13:00～15:00 紹介制・予約制 |
| 不整脈外来(循環器内科) | | | 中野正博(第2・4水曜日) 14:00～16:30 完全予約制 | | |
| 股・膝関節外来(外科) | | | 阿部 功(股関節) 14:00～15:30 紹介制・完全予約制 | 白井周史(膝関節) 13:30～15:00 紹介制・完全予約制 | |
| ヘルニア専門外来(外科) | | | | 山本海介 13:00～15:00 | |
| 緩和ケア外来(外科) | | 豊田康義 手渡(認定看護師) 13:30～15:30 完全予約制 | 豊田康義 手渡(認定看護師) 9:30～11:00 完全予約制 | | |
| ストーマ外来(外科) | | | | | 谷(認定看護師) 9:00～12:00 完全予約制 |
| 禁煙外来(外科) | | | 守 正浩 13:00～ 完全予約制 | 守 正浩 13:00～ 完全予約制 | |
| 肛門外来(外科) | 守 正浩 14:00～16:00 完全予約制 | | 守 正浩 14:00～16:00 完全予約制 | 守 正浩 14:00～16:00 完全予約制 | |
| 助産師外来(産婦人科) | | <完全予約制>午前・午後 | | <完全予約制>午前・午後 | |
| 母乳外来(産婦人科) | <完全予約制>午後2時 | | <完全予約制>午後2時 | | <完全予約制>午後2時 |
| 性カウンセリング(産婦人科) | | | | 大川玲子 8:30～17:00 完全予約制 | |

検査担当医師表

| 診療科 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | |
|----------------|-------|-------|-------|-------|----------------------|-------|
| 胃内視鏡検査 (午前) | 金田 暁 | 田村 玲 | 齊藤正明 | 阿部朝美 | 伊藤健治 | |
| | 里見大介 | | 里見/土岐 | 福富 聡 | | |
| 大腸ファイバー(午後) | 内科交替医 | 外科交替医 | 外科交替医 | 外科交替医 | 内科交替医 | |
| 超音波 | 腹部 | 芳賀祐規 | 阿部朝美 | 田村 玲 | 伊藤健治 山田善重 | 金田/宮村 |
| | 心臓 | | | | <第2・4木曜日> 午前 高見 徹 | |

編集後記

関東地方では観測史上初めて6月に梅雨明けのニュースが届きました。今号の表紙は、千葉公園のハスをテーマに考えましたが、このテーマはこれまでに何回も登場しているため(何といっても大賀ハスは約2000年前の古代ハスですからね)、今年から始まったイベントの「夜ハス」をテーマにセミプロ級の腕前を持つ職員に頼んで撮影してもらいました。ハスの花ではありませんが、公園入口はハスの花を連想させる楽しい飾り付けです。(M.S)



撮影：水野 昭

【編集委員名簿】

(編集長 斎藤幸雄)
(副編集長 雨宮伸治)
(森嶋友一) (齋藤雅男)
(神長雅浩) (久保慶宜)
(徳淵真由美) (坂野和彦)
(佐藤厚子)

外来診療担当医師表 “聞く” “聴く” “訊く” の対応を! 平成30年7月1日より

| 診療科 | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | |
|---|------|--------------------------------------|--------------------------------------|--|--------------------------------------|--------------------------------------|------|
| 受付時間は原則として、平日(月曜日から金曜日)の8:30から11:30まで | | | | | | | |
| 内科 | 新患 | 杉浦信之 | 杉浦信之 | [交替医] | 金田 暁 | 齊藤正明 | |
| | | 齊藤正明 | 齊藤正明 | [交替医] | 田村 玲 | 岡澤哲也 | |
| | 再診 | 呼吸器内科 <small>新患は紹介制</small> | 丸岡美貴 | 西村大樹 | 江渡秀紀 | 丸岡美貴 | 江渡秀紀 |
| | | | 安田直史 | 白石結佳 | 野口直子 | 西村大樹 | 安田直史 |
| | | 消化器内科 <small>(消化管、肝、胆、膵)</small> | 伊藤健治 | 金田 暁 | 伊藤健治 | 篠崎勇介 | 阿部朝美 |
| | 田村 玲 | 宮村達雄 | 阿部朝美 | 西村光司 | 大内麻愉 | | |
| | 総合内科 | | 芳賀祐規 | 内田彩月 <small><第1・3・5水曜日></small> | | | |
| 糖尿病代謝内科 <small>新患は紹介制</small> | | 島田典生 | 石塚伸子 | 島田典生 | 岡澤哲也 | 島田典生 | |
| | | | | | 大原恵美 | 大原恵美 | |
| 神経内科 <small>新患は紹介制・予約制</small> | | 長瀬 さつき | 古本英晴 | 長瀬 さつき | 古本英晴 | 櫻井 透 | |
| 精神・神経科 <small>新患は予約制(水・木・金のみ)</small> | | 海宝 美和子 | 高橋 絵理子 | 岡田祐輝 | 清原雅生 | 楠戸 恵介 | |
| 循環器内科 <small>新患は紹介制 月曜日は完全予約制 受付は10時まで</small> | | 高見 徹 | 久保 健一郎 | 梶山貴嗣 | 高見 徹 | 中里 毅 | |
| 小児科 | | 重田 みどり | 鈴木裕子 | 重田 みどり | 宮内厚子 | 渡邊 博子 | |
| 外科・消化器外科 | | 森嶋友一 | [交替医] | 豊田康義 <small>(緩和ケア)</small> | 里見大介 | [交替医] | |
| | | 福富 聡 | | 山本海介 | 野村 悟 | | |
| | | 榊原 舞 | | 利光靖子 | 土岐朋子 | | |
| | | 守 正浩 | | 石毛孔明 | 小倉皓一郎 | | |
| 乳腺外科 <small>紹介制・完全予約制</small> | | 鈴木正人 | 鈴木正人 | 手術日 | 鈴木正人 | 鈴木正人 | |
| | | 中野茂治 | 中野茂治 | 手術日 | 中野茂治 | 中野茂治 | |
| 整形外科 <small>火・金の受付は10時まで</small> | | 大河昭彦 | [交替医] | 大河昭彦 | 村上宏宇 | [交替医] | |
| | | 阿部 功 | 手術日 | 阿部 功 | 白井周史 | 手術日 | |
| | | 村上宏宇 | | 林 浩一 | 林 浩一 | | |
| | | 白井周史 | | 神野敬士朗 | 神野敬士朗 | | |
| | | 山川奈々子 | | 山川奈々子 | | | |
| 形成外科 | | 手術日 | 鈴木文子 | 手術日 | 鈴木文子 | 鈴木文子 | |
| | | | 富永真以 | | 富永真以 | 富永真以 | |
| 脳神経外科 <small>月・水は新患のみ(紹介制)</small> | | [交替医] | 丹野裕和 | [交替医] | 手術日 | 尾崎裕昭 | |
| | | | 川崎宏一郎 | | | 大石博通 | |
| 呼吸器外科 | | 斎藤幸雄 | 手術日 | 斎藤幸雄 | 千代雅子 | 千代雅子 | |
| | | | | | 芳野 充 | | |
| 心臓血管外科 | | 手術日 | 中谷 充 <small><完全予約制></small> | 平野雅生 | 手術日 | 中谷 充 | |
| | | | | 鬼頭浩之 | | | |
| 皮膚科 <small>木曜日は完全予約制</small> | | 大久保倫代 | [交替医] | 大久保倫代 | 角田寿之 <small><完全予約制></small> | [交替医] | |
| | | 秋田 文 | [交替医] | 秋田 文 | | [交替医] | |
| | | 太田 梓 | | 太田 梓 | | | |
| 泌尿器科 <small>新患は紹介制(月・火・木・金) 水曜休診 金曜の受付は10時まで</small> | | 一色真造 | 櫻山由利 | 手術日 | 櫻山由利 | [交替医] | |
| | | 櫻山由利 | 一色真造 | | 川名庸子 | 手術日 | |
| | | 川名庸子 | 菅原 翔 | | 藤本 歩 | | |
| | | 宮内武弥 | | | | | |
| | | 藤本 歩 | | | | | |
| 産婦人科 <small>婦人科新患受付は月・水・金(紹介制) 産科新患受付は月・水・金</small> | | 糸井瑞恵 | <完全予約制> | 岡嶋祐子 | <完全予約制> | | 岡嶋祐子 |
| | | 藤田久子 | | 關 公美子 | | 木嶋 由理子 | |
| | | 木嶋 由理子(産) | 關 公美子(産) | 糸井瑞恵(産) | | 藤田久子(産) | |
| 眼科 <small>新患は紹介制 再診は予約制 受付は10時まで</small> | | 新井 みゆき | 新井 みゆき | 新井 みゆき | 手術日 外来注射日 | 岡田 恭子 | |
| | | 岡田 恭子 | 岡田 恭子 | 岡田 恭子 | | 大岡 恵美 | |
| | | 大岡 恵美 | 大岡 恵美 | 大岡 恵美 | | 櫻井まどか | |
| | | 櫻井まどか | 櫻井まどか | 櫻井まどか | | 永井達也 | |
| | | 手術日(午後) | 手術日(午後) | 手術日(午後) | | | |
| 頭頸部外科・耳鼻咽喉科 <small>新患は紹介制 再診は予約制 火・水の受付は10時まで</small> | | 渋谷 真理子 | 渋谷 真理子 | [交替医] | 手術日 | 鈴木 誉 | |
| | | 坂本夏海 | 鈴木 誉 | 手術日 | | 坂本夏海 | |
| | | 高橋 侑里 | | *新患のみ | | 高橋 侑里 | |
| 放射線科 治療 | | 酒井光弘 <small><完全予約制></small> | | 酒井光弘 <small><完全予約制></small> | | 酒井光弘 <small><完全予約制></small> | |
| 歯科口腔外科 <small>新患は紹介制 再診は予約制</small> | | 中津留 誠 | 中津留 誠 | 中津留 誠 <small>第1・第3午後休診</small> | 嶋田 健 | 中津留 誠 | |
| | | 嶋田 健 | 嶋田 健 | 嶋田 健 | 武内 新 | 嶋田 健 | |
| | | 武内 新 | 武内 新 | 武内 新 | | 武内 新 | |
| 病理診断科 | | <完全予約制(月~金)> | | | | | |

※専門外来・検査担当表は11ページに掲載しています。